

令和6年度 事業報告

我が国の景気については、雇用、所得環境の改善や各種施策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、アメリカのトランプ政権が打ち出した関税政策が世界に与える影響による先行きの不透明感が強まり、景気の下振れリスクが高まっています。

加えて、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ等が個人消費に及ぼす影響や、ロシアのウクライナ侵攻、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要があります。

このような状況の中、当協会は川崎港の振興発展に向けた諸事業に取り組み、市民に開かれた港づくりを中心に、更には港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実現を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を積極的に推進してまいりました。

【公益目的事業－１】

——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善

・「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題について協議会の傘下にある「改善部会」で一括して取り組んできた。「改善部会」では、東扇島地区及び川崎港全般に関わる課題に取り組み、上記課題の進捗状況を検討、確認する場として、令和6年7月5日、令和7年1月15日に改善部会小委員会を開催し、進捗状況報告書の内容を再確認した後、令和6年8月6日、令和7年2月14日に改善部会を開催した。

また、「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」（親会）を令和7年3月18日に開催し、令和7年2月14日の「改善部会」において報告された事項について、確認を行った。

ア 第1回「改善部会」小委員会の開催

日 程 7月5日

議 題 課題の進捗状況確認

(1) 成果のあったあるいは現在実施中の事項

- ① 交通（違法駐車取締まり等）⇒ 荷待ちトラック待機所の利用改善
- ② 港湾施設（港湾施設道路の安全確保）⇒ 軽易な陥没についての即時対応、カーブミラーの設置
- ③ 港湾施設（東扇島照明灯・接岸灯）⇒ 外貿4号岸壁背後の荷捌き地照明のLED化対応
- ④ 港湾施設（千鳥町地区照明灯・接岸灯）⇒ 照明施設増設の整備
- ⑤ 環境改善（東扇島島内の美化）

⇒ ごみ量の比較モデル実験の実施、一斉清掃の継続

⑥ 環境改善（公衆トイレ）⇒ 内貿30号トイレの内装改修設計の実施

（2）改善に向けて動きがあった事項

① 交通（トラック待機所）⇒ 荷待ちトラック待機所に関するアンケートの実施

② 港湾施設（荷捌き地）⇒ 東扇島荷捌き地の軽易工事实施、堀込部埋め立て事業に伴うフェンスの設置

③ 港湾施設（上屋）⇒ 老朽化した上屋の防水加工等、修繕の実施

④ 交通（通勤用車両の有料駐車場）⇒ 利用の向上促進

イ 第1回「改善部会」

日 程 8月6日

議 題 1 課題の進捗状況確認

改善部会小委員会での議題確認

2 新規課題

3 その他

ウ 第2回「改善部会」小委員会の開催

日 程 1月15日

議 題 課題の進捗状況確認

（1）成果のあったあるいは現在実施中の事項

① 港湾施設（タグボート基地）⇒ 東扇島小型船だまりは令和5年度以降も継続して工事

② 交通（違法駐車取締まり等）⇒ 荷待ちトラック待機所の活用を促し、東扇島東公園横の待機所については利用台数が増加傾向にある

③ 道路（外貿3号T字路におけるカーブミラーの設置、幹線5号道路、及び外貿10号道路交差点の横断歩道3か所の塗り直し実施

④ 照明灯・接岸灯（太陽電池式LED誘導灯の外貿4号、6号、7号への設置）

⑤ 環境改善（東扇島島内の美化）⇒ 『ポイ捨てNO宣言車』のステッカーの配布、監視カメラ設置誘示の為の表示幕の設置、ごみ投棄されやすい場所への監視カメラ移設の検討

（2）改善に向けて動きがあった事例（検討中の課題・長期スパンの要望）

① トラック待機所 ⇒ 東公園トイレ利用の為の簡易通用口の設置

② 荷捌き地 ⇒ 東扇島堀込め部及び扇島地区へのふ頭用地及び岸壁の位置づけ

③ 荷捌き地 ⇒ 東扇島8号荷捌き地の軽易工事实施、9号荷捌き地区画線塗り直し

④ 上屋 ⇒ B号及びC号上屋の工事状況

⑤ 通勤用車両の有料駐車場 ⇒ 利用の向上促進

⑥ 交通の利便性向上 ⇒ 利用者負担軽減に向けた各種割引制度等の見直しについての国への要請

⑦ トラック待機所への有効活用（他港の状況についての情報収集）

エ 第2回「改善部会」

日 程 2月14日

- 議 題 1 課題の進捗状況確認
改善部会小委員会での議題確認
2 新規課題
3 その他

オ 令和6年度「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の開催

日 程 3月18日

- 議 題 1 改善部会の活動状況、課題の進捗状況について
2 新規課題
3 その他

2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

(1) 「川崎港戦略港湾推進協議会」に関する事業

「川崎港戦略港湾推進協議会」(平成23年9月設立)は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、及び川崎港振興協会の4団体で構成され、コンテナターミナル利用の一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指し、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の故齋藤 文夫前会長が務め、推進協議会の下部組織である2部会(ポートセールス部会・施設計画部会)のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

コンテナターミナルでの取扱数量は、令和2年度に初めて16万TEU超えを果たしたが、令和3年度以降4年連続減少となった。新型コロナウイルス感染症に端を発した世界的なコンテナ物流の混乱は、今現在も地政学的な影響も重なり継続している。

各船会社による航路スケジュール調整の影響を受け、川崎港抜港が重なり、主要顧客が東京港・横浜港へシフトせざるを得なくなる状況となり、昨年に続き10万TEUを割り込む状況となった。

ア ポートセールス部会開催及び施設計画部会へ参加

・ 第1回ポートセールス部会の開催

日 程 5月21日

- 議 題 ① 令和5年度 活動状況について
② 令和6年度 事業計画について
③ その他(海外ポートセールス等)

・ 第2回ポートセールス部会の開催

日 程 10月29日

- 議 題 ① 令和6年度 上半期の事業活動について
② 海外ポートセールス出張報告
③ FOODディストリビューション展出展報告
④ その他(年間スケジュール実施予定確認 他)

- ・ 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 3月13日

- 議 題
- ① 令和6年度 事業報告書（案）及び収支決算書（案）の承認
 - ② 川崎港を取り巻くマーケット状況について
 - ③ 連雲港港・青島出張報告
 - ④ 令和7年度 事業計画（案）及び収支予算（案）の承認
 - ⑤ その他

- ・ 第1回施設計画部会へ参加

日 程 12月6日

- 議 題
- ① コンテナターミナル施設改修について
 - ② その他・意見交換

イ 国内ポートセールスの実施

- ・ 食品物流に特化したFOODディストリビューション展という国際展示会に川崎港戦略港湾推進協議会ポートセールス部会として出展し、約200名の方々と面談し、また300部の川崎港パンフレットを配布した。
- ・ 輸出貨物獲得に向けた取組み
手厚くした輸出貨物補助金制度を利用した輸出顧客獲得
自動車関連の輸出貨物取扱獲得に向けて、川崎港としてスバル北米向けCKDの大井ふ頭経由北米向け川崎港受け船輸送を開始
中古自動車、自動車部品関連、危険品タンクコンテナの取り込み
- ・ 新規荷主の取り扱い拡大
家電、アパレル、日用雑貨など幅広い品目をターゲットとする。

ウ 友好船社対応

- ・ SITCとの連携強化（6月、2月）
SITC青島、タイ、ベトナムハノイ、ベトナムハイフォン事務所を訪問
- ・ ONE、ワンハイ、南星海運ジャパンとの定期交流
(5月～10月、1月、他)

エ 海外ポートセールス活動

令和6年度活動計画の中で、海外ポートセールスは7月にベトナム ハノイ、ホーチミン訪問、同じく7月にタイを訪問し、令和7年2月には港湾局で交流港である連雲港港への表敬訪問を実施。中国への顧客向けポートセールスに関しては15日以内のビザ免除措置（短期ビザ発給）が令和6年11月まで停止されており、その後もコンテナ航路スケジュール混乱の影響で海外ポートセールスの実施は見送った。

- ・ ベトナム ハノイ、ホーチミンへの訪問
実施日 7月8日～7月12日（3泊5日）
出張者 川崎商工会議所、川崎港運協会（日本通運、村山商店）

川崎市港湾局

訪問先 SITCベトナム、ベトナム商工会議所、JETROベトナム他
企業数社

・タイ王国訪問

(YKIPの「横浜川崎港湾セミナーINバンコク」タイセミナーへ共同
参加)

実施日 7月16日～7月19日

出張者 川崎市港湾局港湾振興部長、港湾局誘致振興課長、
川崎港運協会、東洋埠頭、川崎港振興協会

訪問先 SITCタイ、バンコック商工会議所、JETROタイ、
その他顧客との意見交換

(2) 横浜川崎国際港湾株式会社に関する事業

国際コンテナ戦略港湾政策に基づき設立された横浜川崎国際港湾株式会社の川崎事業部と連携し、川崎港戦略港湾推進協議会と共に協力して川崎港の更なる発展を図った。7月17日にタイ王国で開催された「横浜川崎港湾セミナーINバンコク」に川崎港として共同開催の形で参加した。

(3) 京浜3港広域連携に関する事業

毎年行われている港湾振興協会等事務連絡会において、横浜・東京各港の振興協会と情報交換を行った。(令和6年度11月博多港にて開催)

(4) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主企業及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、コンテナターミナルの更なる発展に向けて情報収集及び川崎港利用の誘致セールスを行った。

(5) クルーズ客船誘致に関する事業(インバウンド等誘客に関する事業)

川崎港の利用促進につながる観光事業の一環として、クルーズ客船誘致事業の展開方法等を模索するため、2月にクルーズ船誘致を検討している鹿児島県志布志港を運営している志布志市を訪問し、鹿児島県土木部港湾空港課も交え、今後の動向について情報交換を行った。

3. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。令和6年度は、合計で11隻の外航船が初入港した。

4月	1隻	8月	0隻	12月	1隻
5月	0隻	9月	4隻	1月	0隻
6月	0隻	10月	1隻	2月	2隻
7月	1隻	11月	0隻	3月	1隻

4. 国際交流事業（友好港、友好都市との交流事業）

- ・ 10月28日に友好港であるダナン港港長一団が来川し、川崎日航ホテルにて友好港歓迎式典を行った。
- ・ 2月16日～19日、交流港である連雲港港を表敬訪問
SITC青島他顧客を訪問
(港湾局港湾振興部長、港湾局誘致振興課担当課長、誘致振興課担当係長)

5. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に行政機関、施設使用料、統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポートセールスに使用するほか、会員、川崎港利用者等に頒布した。

川崎港便覧2024年版

発行日 7月19日

発行部数 日本語版 3,000部／英語版 300部

6. その他の振興事業

- ・ 広報について

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、日刊紙、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

【情報提供先】

- | | |
|-------|----------------------------|
| 7月20日 | 日本海事新聞「海の日記念特集号」コンテナ物流・港湾編 |
| 8月 2日 | タウンニュース川崎区・幸区版「暑中見舞い名刺広告」 |
| 1月 1日 | タウンニュース川崎区・幸区版「元旦号年賀名刺広告」 |
| 1月 6日 | 日本海事新聞「新年特集号」コンテナ物流・港湾編 |

【公益目的事業—2】

——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を
図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

1. 市民と港を結ぶ事業

川崎港の役割及び海事思想について市民の理解を深めるとともに、川崎マリエンの利用を促進するため、令和6年度は次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たってアンケート等を行い、事業効果を確認して、その後の事業の参考とした。

（1）第51回川崎みなと祭りの開催

川崎港への市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して、「川崎市市制100周年記念 第51回川崎みなと祭り」を開催した。

7月の「親子海釣り教室」を皮切りに、年間を通して海と触れ合うイベントを実施するとともに、10月には、川崎市市制100周年を記念した夜空を彩るドローンショーや寄港船舶の一般公開など、多彩な内容で「第51回川崎みなと祭り」のメインイベントを開催した。

また、6年振りの「ちくさんフードフェア」との同時開催により多くの来場者で賑わうイベントとなった。

【メインイベント】

・開催日 10月12日・13日

来場者 169,000人

【年間イベント】

・親子海釣り教室 (7月14日・15日 /参加人数 86人)

・川崎港クルーズ (10月12日・13日 /参加人数 210人)

・はだし運動会 (10月12日・13日 /参加人数 46人)

・川崎港見学ツアー【特定校】(11月15日・12月2日/参加人数 212人)

(2) 夜桜のライトアップ

桜の開花時期である4月上旬から、東扇島中公園の桜のライトアップを行い、訪れる市民にお花見の場所を提供した。

(3) 夏休み工作教室の開催

夏休みの子どもたちに向けて、専門家によるボトルシップ工作教室を開催した。

・開催日 8月17日

参加者 42人

(4) 中公園を花で飾ろう

東扇島中公園のベンチ横園路脇のスペースを活用して作った花壇に、市民参加による花苗を植えるイベントを行った。

① 開催日 7月21日

参加者 59人

② 開催日 3月16日

※雨天により中止。後日職員が花苗を植えた。

(5) マリエン納涼祭の開催

川崎港運協会、川崎海事広報協会、川崎港湾福利厚生協会、東扇島協議会の協賛で、中公園キャンプ場を使用し、射的、ヨーヨー釣りなどの縁日を楽しんでもらい、川崎マリエン展望室からの夕焼けを見学後、東扇島北公園浮栈橋より納涼船に乗船し、川崎市内在住及び東扇島内企業在勤者及びその家族が川崎港の夜景を楽しみながら納涼気分を味わう納涼祭を開催した。

・開催日 8月23日

参加者 157人

(6) あそびの日の開催

川崎マリエン各種施設を団体や組織に利用してもらい、子どもたちを対象にマリエンの周知と今後の利用促進を図るため、(一社)川崎市子ども会連盟と協力し、川崎マリエンあそびの日を9月8日に開催した。今年度は川崎市教育委員会の後援も取り付

け、各小学校に案内を配るなど集客にも力を入れた。

・実施日 9月8日

参加者 1, 100人

(7) ふれあい移動動物園の開催

中公園のキャンプ場スペースを利用し、来園者による小動物とのふれあい体験を目的としたふれあい移動動物園をあそびの日と同日開催した。

・実施日 9月8日

参加者 1, 100人

(8) 季節の工作教室の開催

季節感のあるオリジナルアイテムを製作する工作教室を開催した。

今回は主に100円均一の材料を使い、ハロウィン柄のランタンを作成する30分の教室を5回（1回定員20人）行った。

・開催日 9月8日（あそびの日 同時開催）

参加者 100人

(9) 野鳥や樹木の保護・観察

川崎港の緑と野鳥が共存する貴重な環境である川崎マリエン及び隣接する東扇島中公園において、市民参加による「野鳥及び樹木の観察会」を実施した。

・実施日 3月16日

参加者 52人

(10) 樹木の名木板取付ワークショップ

環境保護への関心を高めるため、川崎マリエン及び東扇島中公園に植樹されている樹木の名木板を製作し取り付けるワークショップを開催した。

・実施日 3月16日

参加者 52人

(11) スポーツの日

障がいがある人となない人が交流するスポーツの日として、新たにボッチャの体験教室を開催した。

・実施日 11月16日

参加者 11人

(12) 初日の出観賞会の開催

初日の出観賞スポットとして定着している展望室での初日の出観賞会を昨年度と同様、100人の事前応募制にて開催した。

・参加者 87人

(13) 冬の芋煮会

東扇島中公園バーベキュー場で芋煮会を開催した。

・開催日 2月8日（土）

参加者 4組20人

(14) 展示の充実

川崎港の統計データパネルを更新する等、川崎マリエンにおける展示の充実を図ることにより、タワー棟10階展望室、交流棟2階マリエンプラザ、1階コミュニテ

ィホールへの回遊性を高め、川崎マリエンの魅力度の向上を図った。

(15) フリースペースの活用

川崎マリエン交流棟1階のコミュニティホールを市民グループ等の絵画・写真等の展示スペースとして利用できることをブログやチラシなどにより発信するとともに、年間を通じてミニチュアカーの展示を継続し、自動車の輸出港としてのアピールを行った。

また、児童絵画・写真コンクールの入賞作品の展示を行った。

さらに、ボトルシップ工作教室指導者養成コースの作品を常設展示し、3月にはボトルシップ工作教室の生徒作品も展示した。

(16) マリエン映画観賞会

マリエンシアターで小学生以下の子供とその保護者を対象に、夏季と春季に観賞会を開催した。

① 上映日 7月20日

上映作品 「映画 北極百貨店のコンシェルジュさん」

来場者 40人

② 上映日 3月16日

上映作品 「映画 怪盗グルーのミニオン超変身」

来場者 60人

(17) パブリックビューイングの開催

令和6年度は、ビーチバレーボール川崎市長杯のWEB放送をシアターのスクリーンで発信した。

(18) 展望呈茶会の開催

新たに、マリエン9階のリフレッシュルームからの眺望を楽しみながら日本の伝統文化である茶道を無料で体験する「展望呈茶会」を桜の開花時季にあわせて開催した。

・実施日 3月19日

参加者 12人

(19) 第14回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。

※入賞作品の展示は、4月11日～4月24日に川崎アゼリアにて行い、全応募者展示は令和7年8月30日～31日に川崎マリエン体育館にて行う予定

・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし

・応募期間 11月1日～1月31日

・応募点数 写真69点、絵画143点

・選考会 2月18日

・表彰式 3月20日

(20) 観光客の誘致

一般社団法人川崎市観光協会の開催する工場夜景ツアーと連携するなど、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川

崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外の観光客や修学旅行生に向けて情報発信を行った。

(21) 川崎マリエンのイルミネーション装飾及びライトアップの実施

クリスマスシーズンにイルミネーション装飾を実施するとともに、川崎市と協力して啓発キャンペーンの際には業務棟・交流棟壁面のライトアップを実施した。

- ① 自閉症啓発・発達障害啓発として、4月2日から4月8日までブルーライトアップを実施
- ② 世界自殺予防デーに伴い、9月10日から16日にグリーンライトアップを実施
- ③ 世界メンタルヘルスデーに伴い、10月7日から10月13日にシルバーライトアップを実施
- ④ 11月27日から12月25日までクリスマスイルミネーションを点灯
- ⑤ てんかんの啓発キャンペーンに伴い、3月19日から26日にパープルライトアップを実施

(22) 車両の駐車講習会の開催

川崎マリエンの駐車場を活用して、自動車の安全で安心な駐車や車庫入れの技術向上を目的に専門の指導員による講習会を開催した。

- ・開催日 11月2日
- 参加者 10人

(23) 自転車の安全運転啓発への協力

東扇島中公園の貸自転車利用者に対して、自転車の安全で安心な運転技術の向上を目的に、警視庁より発行されているリーフレットを配布し、安全な自転車利用の啓発に努めた。

(24) 川崎港紹介資料の制作

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材「川崎市ぐるっと探検」を制作し、配布を行った。

- 来館校数 82校
- 来館生徒数 9,517人

(25) 海苔づくり体験教室の開催

体験学習施設を利用して、市内の小学生等を対象とした海苔づくり体験教室を川崎港で活動するNPO法人と連携して合計2回開催した。

- ・開催日 2月17日／2月24日
- 参加者 99人

(26) わかめ祭りの開催

川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、関係団体と連携、協力して、川崎港内で養殖したわかめの種付け体験及び収穫祭を開催した。

- 種付け体験 実施日 12月22日
- 収穫祭 実施日 2月16日
- 参加者 47人

(27) ニューススポーツ普及活動

ニューススポーツ普及活動の一環として東扇島中公園、体育館において、グラウンドゴルフ、カローリング、ペタンク等の体験会を開催した。

① 開催日 6月1日（ニューススポーツ・ビーチスポーツ体験会として開催）

参加者 81人

② 開催日 9月8日（あそびの日に開催）

参加者 1,100人

(28) 定期演奏会の開催誘致

川崎マリエン体育館の多目的利用を促進する一環として、演奏会やミニコンサート等を誘致することが効果的と思案し、SNSを活用した広報活動を行ったものの利用されるまでに至らなかった。

(29) 川崎マリエン内へ写真撮影スポットの施設整備

マリエンのファン獲得とSNSによる情報拡散を目的として、Instagramフレームを展望室内にて自由に使用できるよう設置している。また、グループでの撮影促進策として、1Fロビー入口の川丸くんパネル横にスマートフォン用の三脚を設置した。

(30) 合宿用施設としての利用

川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与するとともに、オリンピックやトップアスリートによる指導・研修を受ける環境を提供し、次世代を担う選手を育成する事業として実施している。

令和6年度は11月3日から5日までの3日間、23歳以下を対象に、ビーチバレー場にてビーチバレー実技の研修、研修室にてコンディショニング等の研修を開催した。個人事情による通い参加もあり、宿泊参加と通い参加の3日間延べのスポーツ合宿参加人数は48人だった。

(31) 宿泊体験事業の実施

川崎マリエンの特色を発揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、青少年育成団体を対象とする研修を実施した。

・実施日 7月20日、21日

参加者 110人（2日間）

(32) ボトルシップ指導者養成講座の開催

ボトルシップを製作する技術をもつ人材を育成する指導者養成講座を開催し、基本から高度な技術まで修得できる養成コースを毎月1回、1年間で12回開催した。

修了者は、夏休み工作教室での製作指導にその技術を活かしていく。

・参加者 16人

(33) 茶道教室の開催

和室を利用した伝統とおもてなしの心を体験する茶道教室を、裏千家淡交会川崎支部の協力により開催した。また、教室の開催に先駆け、無料体験会を実施した。

・茶道教室

実施日 6月5日～3月26日（全20回）

参加者 5人

- ・無料体験会

実施日 5月22日

参加者 12人

(34) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育館、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。

- ・夜間テニス教室／春の部 5月9日～6月17日実施
全8回 150人参加
- ・夜間テニス教室／秋の部 9月5日～10月28日実施
全8回 150人参加
- ・夜間バドミントン教室／夏の部 6月4日～7月23日実施
全8回 98人参加
- ・夜間バドミントン教室／秋の部 10月22日～12月10日実施
全8回 117人参加
- ・昼テニススクール 4月10日～3月26日実施
全34回 91人参加
- ・昼テニス大会 5月14日～3月11日実施
全11回 112人参加
- ・日帰り研修／ビーチバレーボール教室
4月14日 20名参加
6月16日 20名参加
- ・日帰り研修／ビーチテニス教室
10月19日実施 15名参加
11月30日実施 21名参加
- ・トレーニング教室 5月16日～10月17日実施
全5回 13人参加

(35) フットサルコートの提供

体育館でのフットサル利用を可能とし、市内で活動する個人参加型フットサルの団体が定期的に個人参加型フットサルの開催を行うよう後援を行った。

(36) フットサル教室の開催

体育館において新たにフットサル教室を月2回開催し、83人が参加した。

(37) ビーチフィットネス／健康体操・ストレッチ教室の開催

ビーチコートや研修室を利用し、フィットネスやストレッチ等の健康維持や体力増進を目的とした教室を開催した。

- ・開催日 3月19日

参加者 15人

(38) キャンプエリアを活用したイベントの開催

東扇島中公園に開設したキャンプエリア利用に際して、隣接するバーベキュー場と

の利用を組み合わせた情報発信等により、キャンプ場やバーベキュー場の利用率の向上を図った。

利用件数	日帰り	95件
	宿泊	86件
	合計	181件

(39) 夏休み川崎港見学会の開催

川崎港の役割、重要性等の理解を深める目的で、夏休みの期間を利用して、小学生とその保護者を対象に港湾局の巡視船「かもめ」による港内見学やプリンス海運株式会社の自動車専用船の船内見学等を行う見学会を開催した。

1回目	7月24日	9組	18人
2回目	7月31日	8組	16人
3回目	8月7日	7組	14人

(40) 川崎港魅力体験ツアーの実施

市民を対象に、港湾施設や市民利用施設を見学するとともに、夜間も活動が続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、役割や重要性等を理解しながら、川崎港の魅力を体験するツアーを区役所との共催で3回開催した。

1回目	11月12日	宮前区役所	20人
2回目	1月15日	幸区役所	30人
3回目	2月20日	多摩区役所	26人

(41) 親子釣り教室の開催

子供たちが釣りの楽しさや、海洋環境を学ぶことを目的に、東扇島西公園において親子釣り教室を開催した。川崎港で釣りができることの認知度や東扇島西公園の「釣り施設」としての知名度を向上させ、更なる賑わいの創出と施設の活性化を図った。

・実施日	6月15日
参加者	26人

(42) 港内案内事業の実施

市民、研究者、事業者等を対象に巡視船を利用して海上から川崎港を案内する業務を当協会が受託し、令和6年度は、合計22回の案内業務を実施し、506人の乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明を行った。

また、川崎市と連携した東扇島防災浮棧橋の平時利用による港内観光等の試行実施については、年間で13回の利用があった。

(43) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチバレー場、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

- ① 令和6年度 川崎マリエンジュニア育成テニス教室
- ② DEAD POP FESTIVAL 2024

- ③ SPARK 2024
- ④ 第38回 全日本ビーチバレーボール男子選手権大会神奈川県予選
第35回 全日本ビーチバレーボール女子選手権大会神奈川県予選
- ⑤ 第31回 関東大学ビーチバレーボール男女選手権大会 兼
アクティオ杯ビーチバレージャパンカレッジ2024
第36回 全日本ビーチバレー大学男女選手権大会予選会・アクティオ杯
ビーチバレージャパンカレッジ 2024
第36回 全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会
- ⑥ 第17回 川崎港トライアスロン in 東扇島 兼
第11回 川崎キッズ・ジュニアトライアスロン大会
- ⑦ 第16回 ビーチバレー川崎市長杯
- ⑧ バイクナビ・グランプリ2024 第25回 川崎マリンエンデューロ
- ⑨ 第24回 神奈川県ビーチバレーボール選手権秋季大会
- ⑩ 神奈川オープンベテランウィンターテニス 2024
- ⑪ JVBチャレンジャーシリーズ2024 川崎大会 第1戦～第5戦
- ⑫ 第138回 川崎市実業団対抗テニストーナメント（第71回リーグ）大会
- ⑬ 第2回 カーフマン・シグネチャーデュアスロン in 東扇島2025
日本学生デュアスロン選手権・JTU関東ブロックデュアスロン選手権
- ⑭ 勇竿主催 第19回 釣り大会&抽選会

2. 港湾及び海事関係者の福利厚生事業

川崎マリエンのスポーツ施設、会議室、シャワー設備等や東扇島中公園を港湾及び海事関係者の利用に供するほか、様々な機能を活用して実施する各種スポーツ教室及び大会、ニュースポーツ普及事業、映画上映会等を開催し、川崎臨海部で働く人々のリフレッシュ、健康づくり、交流の場とすることにより、福利厚生の充実を図った。

3. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、設置目的に従い、体育館、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室、バーベキュー場、キャンプ場、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大に努めた。

（1）体育館

バスケットやバレーボール、バトミントン以外では、インドアプレーン（模型飛行機）、チアダンス・ジャズダンスなどのその他の利用目的にも対応し貸出しを行った。

また、フットサルでの利用も継続し、教室も実施した。

毎週木曜日及び専用利用のない日は、市民開放として貸し出した。

（2）会議室・研修室

利用促進を図るため、会議室及び研修室において使用料の半額化を継続した。

また、ドラマ等の撮影場所として貸し出し、川崎マリエンのPRに努め、知名度ア

ップに貢献した。

(3) 展望室

展望室と望遠鏡の無料化を継続するとともに、ジオラマにより川崎港と周辺地域の様子を具体的に表示し、展望室からの眺望と併せて利用者の方々に楽しんで頂いた。また、ホワイトボードに季節に応じたキャラクターのマグネット等を設置し、来館者がより楽しめるような演出を施した。

(4) テニスコート

利用者からの要望に適宜対応し、また備品管理を行い利用者の利便性の向上を図った。また、HP や SNS を利用したクローズ情報の発信を常態化した。

(5) ビーチバレー場

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点として指定選手やトップアスリートの練習会場としての利用の他、ビーチバレーの関係団体と連携を図り、大会・練習会・講習会、ビーチフィットネス・スポーツ合宿等を開催し、ビーチスポーツの普及に貢献した。

(6) トレーニング室

利用者がいつでも初回説明会を受けられるようにするなど、タワー棟9階のトレーニング室利用に向けた適切な管理運営を行った。

また、交流棟2階のトレーニング場は、ビーチバレーアスリートのトレーニング場所として利用してもらうとともに、適宜備品管理を行い、利用者の利便性の向上を図り、ビーチスポーツの普及に貢献した。

(7) リフレッシュルームの活用

交流棟9階にて運用を開始したリフレッシュルームを活用し、来館者の休息や食事場所として提供する他、クリスマスの時期には室内にイルミネーションの装飾を施すなど季節の装飾を行い、集客増を行った。

(8) 会議室・港湾事務室の環境美化

会議室・港湾事務室の環境美化を図ることにより、清潔で快適な利用環境を整えた。

(9) 東扇島中公園の管理運営

川崎マリエンに隣接する東扇島中公園の管理運営として、樹木剪定、芝刈、除草及び害虫駆除等を定期的に行い、公園利用者の利便性の向上に努め適切に管理運営を行った。

(10) 桜の森とコミュニティスペースの活用

川崎マリエン敷地内にある桜の森や東扇島中公園に多種多様な樹木が植樹されていることから、これらの場所を市民が季節を感じ憩える場所とするためにテーブル・椅子を提供するなど、利用者の利便性向上のために適切な管理を行った。

(11) 駐車場

管理運営を専門業者に委託し、より効率的な運営を行った。また、電気自動車用急速充電器の設置・管理を行った。さらに、定期券や回数券の発行により、島内各社の建物工事に伴う駐車場需要に対応した。

(12) 魅力度の向上

交流棟受付及びロビー等で、職員自らが「春」「イースター」「端午の節句」「七夕」「夏休み」「ハロウィン」「クリスマス」「お正月」「雛祭り」等の季節感を演出する飾り付けを行った。

(13) 利便性の向上

① 施設利用料のキャッシュレス決済の導入

新たな取り組みとして、施設利用料等のキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上を図った。

② マリエン利用者への食の充実

交流棟1階での冷凍食品の販売や市内事業者による弁当の販売を継続促進し、利用者の利便性向上を図った。

③ 無料Wi-Fiの提供

会議室及び研修室等において、携帯電話、タブレット等によるネット環境を活用した会議や多目的な利用へのサービスの向上を図るため無料Wi-Fiの環境を用意した。

④ 外国人来館者への対応

案内物・掲示物に英中韓の3か国語を標記するとともに、マリエン受付に翻訳デバイス（POCKETALK）を用意し、外国人来館者への対応を行うなど、サービスの向上を図った。

⑤ サービス向上委員会及び管理運営個別業務自己評価点検委員会の開催

川崎マリエンのより快適な環境及び魅力ある施設の利用者サービス向上を図るため、毎月1回受託業者間の情報提供や意見交換を行った。また、各受託者が自己評価点検シートにより業務の点検及び評価を行った。

⑥ 会館入居者連絡会議の開催

川崎マリエン入居者への情報の提供や意見交換の場として「会館入居者連絡会議」を3回開催した。

⑦ 川崎マリエン利用者懇談会の開催

川崎マリエンの運営及び事業について、市民及び利用者の意見を反映させるため、12団体から推薦された委員による年2回の川崎マリエン利用者懇談会を開催した。第1回を6月21日、第2回を2月28日に開催した。

・構成団体名

川崎区連合町内会

川崎区スポーツ推進委員会

川崎市教育委員会

(公財) 川崎市スポーツ協会

川崎市バレーボール協会

川崎市テニス協会

川崎マリエン・ボトルシップ会

(一財) 川崎港湾福利厚生協会

東扇島協議会

(公財) 日本バレーボール協会

川崎市港湾局川崎港管理センター

(公社) 川崎港振興協会

⑧ 事業モニタリングの実施

施設の利便性や利用率向上の為に、アンケートや受付に直接寄せられる利用者の意見を取り入れ、改善を図るよう努めた。また、月に1回、施設内の用具等の点検

を行い、利便性及び安全性の確保に努めた。

(14) 安全性の向上

施設の案内表示、備品の保守管理を適切に行い、利用者の安全性の向上に努めた。

マリエン施設の利用者数（前年度との比較）

令和6年度		令和5年度	
293,512人		270,768人	
・会議室・研修室	24,762人	・会議室・研修室	16,775人
・展望室	62,356人	・展望室	66,122人
・テニスコート	23,025人	・テニスコート	35,294人
・ビーチバレー場	25,443人	・ビーチバレー場	22,680人
・体育館	10,685人	・体育館	8,576人
・川崎みなと祭り（メインイベント）		・川崎みなと祭り（メインイベント）	
マリエン会場	118,000人	マリエン会場	102,950人
・その他（トレーニング室他）	29,241人	・その他（トレーニング室他）	18,371人

4. インターネットサイト等による情報提供事業

川崎港の振興と宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページ・フェイスブック・Xで随時情報を提供した。

また、マリエンと協会サイトのウェブアクセシビリティへの対応及び英語版による情報の提供を行い、より多くの方がサイトを便利に利用できるよう配慮に努めた。

・ホームページ

公益社団法人川崎港振興協会 <https://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>

川崎マリエン <https://www.kawasakiport.or.jp/>

・フェイスブック

川崎マリエン <https://www.facebook.com/kawasakimarien/>

・X

川丸くん @kawamaru_kun

・その他の広報活動事業

川崎港及び川崎マリエンを広報するため東扇島協議会の協力をいただきながら、かわさき情報プラザへのイベントチラシ配布や下記の広報活動を行った。

・かわさきFM 生出演（毎月第4火曜日）

・タウンニュース川崎区・幸区版、多摩区・麻生区版、宮前区版 広告 掲載6回

・タウンニュース イベント告知記事、実施記事

・川崎市バス まど上ポスター掲出（11月29日～12月28日）

（2月28日～3月27日）

・かわさき市バスマップ 広告掲載

- ・川崎マリエン館内イベント告知及びポスター掲出（通年）
- ・川崎港湾福利厚生センターにて各教室や写真・児童絵画コンクールの募集案内を掲示
- ・市政だより、かわさきイベントアプリ、神奈川新聞等の新聞各紙にてイベント告知（随時）
- ・多摩区民祭 出店（１０月１９日）

【収益事業－１】

——川崎市施設の管理運営に関する事業——

１．川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園収益施設の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分やバーベキュー場を川崎マリエン並びに東扇島中公園の設置目的に従って適切に管理運営を行った。

- ・東扇島中公園内バーベキュー施設及びキャンプ場の管理運営

収益施設として、川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設の維持管理、案内、用具点検、有料のゴミ処分サービスの継続や、キャンプエリアの適切な管理・運営を行い、東扇島中公園の市民利用を促進した。

＜バーベキュー場＞

利用区画数 ７７７区画（令和５年度 ８３６区画）

＜キャンプ場＞

利用件数 日帰り ９５件（令和５年度 ２５３件）

 宿 泊 ８６件（ 〃 １２２件）

＜無料貸自転車＞

利用件数 ４８６件（令和５年度 ４２０件）

２．自動販売機設置事業

川崎マリエン、東扇島中公園及び東扇島西公園利用者の利便性の向上を図るため、飲料水等の自動販売機を設置している。また、交流棟に冷凍食品の自動販売機を設置し、施設利用者の食事情の改善に努めた。

・交流棟 １台	・業務棟 ２台	・連絡通路 １台	
・展望室 １台	・テニスコート ３台	・西公園 ５台	計 １３台

【収益事業－２】

——川崎港関連物品等の頒布事業——

１．川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者には川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに

展示しているホオジロサメの剥製「かわジロー」に因んだサメのグッズの作成及び仕入れを行い、併せて川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」の各種オリジナルグッズ等を作成して、川崎マリエン受付やガシャポンステーションにより販売した。

また、川崎市観光協会と連携し、日本夜景遺産登録を記念した夜景遺産ポストカード等の製作及び仕入れを行い、販売した。

さらに、グッズ販売促進のため、ポスターや看板等によるPRを行い、キャンペーンとしておまけをつけるなどし、売り上げ増を図った。

2. 体育館利用者のための消耗品の販売

体育館利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けにシャンプー等を販売し、利便性の向上を図った。

【収益事業—3】

——ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の管理運営——

川崎マリエンビーチバレーコートがスポーツ庁からナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に認定されたことを受け、スポーツ庁から業務を受託し、国内トップレベルのビーチバレーボール選手が国内及び国際大会での活躍に向けてトレーニング等を強化できるよう、ビーチバレーコート並びに専用トレーニング室の適切な管理運営を行った。

【共益事業】

——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

1. 会勢

(1)	会 員	2 6 7 社
(2)	役 員	1 7 人
	会 長	1 人
	専務理事	1 人
	理 事	1 3 人
	監 事	2 人
(3)	職 員	1 5 人
	事務局長（業務課長兼務）	1 人
	業務課	5 人
	ポートセールス推進課	1 人
	会館事業課	8 人

2. 総会・理事会

(1) 通常理事会

- ・開催日 5月22日
- ・場 所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議 題 ①令和5年度 事業報告について
②令和5年度 決算報告及び監査報告について
③役員の改選（案）について
④令和6年度 定時総会の招集（案）について
- ・報告事項 職務執行状況の報告について

(2) 定時総会

- ・開催日 6月14日
- ・場 所 川崎日航ホテル 11階 橋楓の間
- ・議 題 ①令和5年度 事業報告について
②令和5年度 決算報告及び監査報告について
③役員の改選（案）について
- ・報告事項 令和6年度 事業計画及び予算について

(3) 臨時理事会

- ・開催日 6月14日
- ・場 所 川崎日航ホテル 8階 リーフ
- ・議 題 ①役員の選定（案）について
②顧問の選任（案）について

(4) 通常理事会（決議の省略の方法による）

- ・決議があったものとみなされた日 11月25日（同意書等の最終到達日）
- ・提案事項 ①令和6年度 上半期事業報告の件
②令和6年度 中間決算報告の件

(5) 臨時理事会

- ・開催日 1月27日
- ・場 所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議 題 ①役員の選定（案）について
- ・報告事項 職務執行状況の報告について

(6) 通常理事会

- ・開催日 3月12日
- ・場 所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議 題 ①令和7年度 事業計画（案）について
②令和7年度 予算（案）について
③資金調達及び設備投資の見込み（案）について

3. 川崎港研修会

港湾関係行政機関から講師を招き、会員店社の新入社員を対象に、川崎港における港湾行政について講演するとともに、海上から川崎港を視察し、川崎港についての理解を深めた。

- ・開催日 7月9日
- 参加者 29人
- 演題1 「関東運輸局の業務について」
講師 関東運輸局 川崎海事事務所 所長 矢野 祐紀 様
- 演題2 「川崎市の港湾行政～原油からコンテナまで取扱う総合港湾～」
講師 川崎市港湾局港湾経営部経営企画担当課長 山本 一滋 様
- [乗船研修]
- 参加者 20人
- 内 容 港湾局巡視船「つばめ」に乗船し、海上から川崎港を視察

4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、川崎市港湾局から講師を招き、公共事業、港湾振興事業、将来計画、川崎港の港勢等についての説明会を開催した。

- ・開催日 7月10日
- 参加者 34人
- 内 容 講演 「令和6年度 川崎市港湾関係事業概要」
講師 川崎市港湾局港湾経営部 整備計画課長 二宮 弘治 様

5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応し、会員各位の事業発展に資するため、令和6年度は株式会社ナカムラロジスティクス取締役執行役員である井上 耕一様を講師にお招きし、「冷凍川崎ブランドの優位性と昭和・平成・令和時代の人手不足対策の一例」と題して、研修会を開催した。

- ・開催日 2月5日
- 参加者 45人
- 内 容 講演「冷凍川崎ブランドの優位性と昭和・平成・令和時代の人手不足対策の一例」
講師 株式会社ナカムラロジスティクス 取締役執行役員 井上 耕一 様

6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾又は海に係わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員店社に川崎港の最新情報を提供するとともに、市内行政機関、学校、図書館等にも配布を行い、川崎港の役割や魅力等について理解を深める一助とした。

(1) 「港かわさき74号」

- 発行日 8月15日
- 発行部数 1,000部

【主な内容】

- ・川崎市市制100周年記念「特別市政功労賞」受賞

- ・連載 みなとで働く人々 第12回 「日本食肉流通センター」
- ・東扇島堀込部土地造成事業
- ・連載「川崎臨海部埋立の歴史」 第12回 東扇島ふ頭整備

(2)「港かわさき75号」

発行日 2月17日

発行部数 1,000部

【主な内容】

- ・齋藤 文夫 会長のご逝去を悼んで
- ・川崎市市制100周年記念 第51回川崎みなと祭り
- ・連載 みなとで働く人々 第13回 「川崎海上保安署」
- ・川崎港の魅力向上に向けて